

令和 7 年度 東京都公立大学法人中期計画進捗状況に対する所見

東京都公立大学法人の業務実績について、地方独立行政法人法に基づき実施する評価に資するため、令和 7 年度末時点における中期計画の進捗状況を同法人が自ら確認した結果について、以下のとおり所見を取りまとめる。

主な所見

■ 総括

東京都公立大学法人は、第四期中期計画の 3 年目である令和 7 年度において、教育・研究・社会貢献など幅広い事業を展開し、その多くで着実に取組を進めており、順調な中期計画の進捗状況にある。

■ 項目別所見

【東京都立大学】

学長裁量枠を活用し分野を限定せず研究に専念できる助教を採用する「知のみやこプロジェクト」により、多数の応募の中から厳選された若手研究者を採用するなど、大学の研究力向上に寄与する優秀な若手研究者の確保・育成に向けた取組が進められている。

【東京都立産業技術大学院大学】

入学定員の増員に対応して、SNS 広告の活用や学長・教員による渉外活動等の戦略的な広報活動を展開し、出願者数及び入学者数の確保につなげるとともに、高い志願倍率を維持するなど、教育の質の確保と安定的な学生確保に取り組んでいる。

【東京都立産業技術高等専門学校】

ICT・IoT 関連講座や品川区と連携した「ものづくりテクノスタジオ 2025」など、産技高専の特色を活かした小中学生向けものづくりや情報技術を体験する機会を提供し、挑戦的な評価指標を上回る参加者数を獲得している。これにより、科学技術への興味・関心の醸成を図るとともに、産技高専の認知度向上や地域との交流促進につながる取組を進めている。

【法人運営全般】

働き方改革推進計画に基づき、文書管理システムの運用や生成 AI の活用による業務効率化、部分休業制度や介護休業制度の拡充など休暇制度の見直しを進めるとともに、職員の声を踏まえたワークスペースの整備や「夏のノー通勤チャレンジデー」の実施など、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。

■ 総括

東京都公立大学法人は第四期中期計画の折り返し点となる令和7年度において、将来の東京の成長を支える人材の育成など幅広い事業を展開し、その多くで評価指標の達成に向けて着実に取組を進めており、順調な中期計画の進捗状況にある。

同法人の設置する東京都立大学（以下「都立大」という。）、東京都立産業技術大学院大学及び東京都立産業技術高等専門学校（以下「産技高専」という。）は、これまでの取組の成果を基に施策のブラッシュアップを図り、環境の急速な変化に機敏に対応しながら、既存の計画のみならず新たな視点を持って積極的な挑戦を推進している。

中期計画期間後半においても、2大学1高専の特徴を活かし、加速する社会の変容を飛躍のチャンスと捉え、国際社会や産業界等で活躍できる豊かな人間性・創造性を兼ね備えた人材の輩出や新たな知の創造に向けた取組を着実に推進し、更なる成果につなげていくことを期待する。

■ 項目別所見

※項目別所見は、「社会との価値共創」「教育」「研究」「法人運営」など、中期計画の一定のまとまりごとに、優れた点・特色ある点、改善・充実を求める点について所見を付している。

I 東京都立大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 社会との価値共創に関する目標を達成するための措置

大項目番号1 都や区市町村等との連携

◎優れた点・特色ある点

- ・TMU サステナブル研究推進機構を中心に、都の課題解決に向けた調査・研究は着実に実績数を増やしながら進められており、挑戦的な評価指標の達成に向け順調に実績を積み重ねている。今後は、実施件数に加え、成果還元の状況や都政への貢献がより分かるよう示されることが期待される。
- ・都の産業労働局やデジタルサービス局等と連携した講座・研修を実施するなど、社会のニーズを的確に捉えて都市課題の解決と東京を支える人材育成に寄与する取組を行った。東京を支える人材育成施策について、都各局だけでなく区市町村等との連携が期待される。

大項目番号2 産学公連携、地域貢献・生涯学習、卒業生・修了生との関係強化

◎優れた点・特色ある点

- ・TMU Innovation Hubを拠点に、挑戦的な評価指標とした産学公連携研究（10件）や大学発ベンチャー支援が着実に実施され、多摩地域のコミュニティ形成や教育・研究の進展に貢献している。

- ・ローカル5G環境を活用した実証実験などが着実に進められており、新たな社会サービスの創出につながる成果も見られている。
- ・アントレプレナーシップ教育やビジネスアイデアコンテスト等を通じて、起業家マインドを備えた人材育成が図られている。今後、アントレプレナーシップ教育の受講者の拡大を含めて、更なる質的充実が期待される。
- ・デフスポーツ関連動画の公開によるデフリンピックの機運醸成への貢献やパラスポーツ等体験教室の実施等、障害者スポーツ支援の取組が着実に実施された。
- ・オープンユニバーシティやプレミアム・カレッジでは、高い受講満足度を維持するとともに、多様な学習ニーズに対応した取組が進められている。今後は、プレミアム・カレッジを修了したシニアの新たな場での活躍など、更なる価値向上が期待される。
- ・卒業生とのネットワーク強化や寄附金を活用した学生支援など、卒業生・修了生との関係強化に取り組んでいる。
- ・寄附件数が前年度実績より大幅に改善し、評価指標が達成されている。他大学の成功事例も参考に強力に効果的な寄附獲得体制を構築し、卒業生のネットワーク拡大等も通じた寄附増への取組を進めることが期待される。

2 教育に関する目標を達成するための措置

大項目番号3 教育内容等の充実、教育の質向上、社会人学生の受入推進

◎優れた点・特色ある点

- ・数理・データサイエンス副専攻コースや令和7年度に正式に開設した国際金融人材育成プログラムについて、積極的な周知等により評価指標を上回る成果を上げており、東京の未来をリードする人材の育成を目指す都立大の役割を果たしている。数理・データサイエンス副専攻コースについては、大学院の修了者の拡大も期待される。
- ・授業内容・レベルを細分化したきめ細かい科目設定など、英語教育の充実に努めている。英語力向上の効果測定を具体的にを行い学生にフィードバックすることで、自主的な学びに結び付けることを期待する。
- ・アセスメント・ポリシーにより、ディプロマ・ポリシーで定めた教育成果等の達成状況を把握・可視化し、検証する体制が構築されつつある。アセスメント・ポリシーの学生や教職員への更なる浸透と活用を通じた教育改善が期待される。
- ・教育へのデジタル技術の活用では、AR及びVRに関し学会等で積極的に発信するなど成果を上げている。
- ・社会人学生の受入れやリカレント教育を継続的に実施し、社会人が参加をしやすい環境づくりなど多様な学習ニーズへの対応が図られている。社会人入学者の受入れについては、適切なターゲット設定が期待される。

◇改善・充実を求める点

- ・文理教養プログラムについては、履修継続支援等の工夫を行い、修了者は令和 6 年度の 1.5 倍以上に増加しているが、評価指標の達成に向け更なる修了者数の確保に向けた取組が望まれる。

大項目番号 4 グローバル教育

◎優れた点・特色ある点

- ・英語のみで学位取得可能なプログラムの拡充や留学生への経済支援の充実、国内初となる南アフリカ共和国高等教育・訓練省との政府奨学金留学生受入れ協定締結など、質保証も行いながら、留学生受入れ環境の整備が進められている。
- ・海外派遣支援の充実や学生の留学意欲向上に向けた留学関連イベントの実施、国際副専攻コースの履修者増加など、グローバル人材育成に向けた取組が着実に進められている。

◇改善・充実を求める点

- ・在籍留学生数及び海外派遣学生数については、挑戦的な評価指標として設定されたものであり、渡航支援の拡充等により、短期派遣者数は増加しているものの、達成が困難な状況にある。さらに社会情勢的にも厳しい状況にあるが、引き続き要因分析や効果検証を行いながら取組を進めることが求められる。また、受入れや派遣の取組の成果について、修了後の進路先なども含め、より分かりやすく示すことが期待される。

大項目番号 5 学生への支援

◎優れた点・特色ある点

- ・多様な学生が安心して学べる環境づくりを目指し、各種経済支援や課外活動支援、ダイバーシティに関する研修などが進められている。今後は、ボランティア活動等の地域活動を通じた学生の主体性や社会参画を促す取組の充実が期待される。
- ・留学生や障害のある学生を対象とした就職活動ガイダンスの実施や、就職活動が早期化・長期化する中での学生への個別相談への対応等、キャリア支援の充実が図られている。
- ・新しい無線 LAN 認証方式と新しい無線 LAN 機器での運用開始による情報通信環境の改善や、Learning Management System 刷新に向けた検討など、学生の学修・生活環境の向上が図られている。

◇改善・充実を求める点

- ・健康診断受診率については、健康診断の実施時期の調整や学生への周知により、受診率が向上したが微増にとどまるため更なる取組が望まれる。

大項目番号 6 入学者選抜

◎優れた点・特色ある点

- ・多様な広報媒体の活用や海外向け情報発信に加え、広報施策の効果検証や改善に取り組んでいる。
- ・都立高校との連携や約 150 人が参加した高校生の探究学習の発表の場である探究学習合同発表会の開催など、高大連携活動が積極的に進められ、質・量ともに充実が図られている。

3 研究に関する目標を達成するための措置

大項目番号 7 研究推進、研究成果の発信、研究実施体制等

◎優れた点・特色ある点

- ・学長裁量枠を活用し分野を限定せず研究に専念できる助教を採用する「知のみやこプロジェクト」により、多数の応募の中から厳選された若手研究者を採用するなど、大学の研究力向上に寄与する優秀な若手研究者の確保・育成に向けた取組が進められている。採用者の今後の活躍により、都立大のプレゼンスの向上と研究成果の社会への還元が促進されることを期待する。
- ・制度をより活用しやすくための見直し内容について周知を徹底し、テニユアトラック制度による採用人事が増えている。
- ・国際共同研究契約数が大きく増加しており、海外大学や研究機関との連携による研究活動が活性化している。
- ・総合研究推進機構のホームページ（TMU Research Portal）における研究成果の発信において評価指標を上回る実績を上げている。
- ・外部資金獲得支援やみやこ MIRAI プロジェクトによる博士後期課程学生への経済支援など研究支援体制の充実が図られている。科研費の新規採択率等が減少しているが、セミナー等の開催の成果を期待する。
- ・構成員のライフ・ワーク・バランスの実現に向けた支援が着実になされている。今後は、介護も含めた支援の施策の拡充が期待される。
- ・オープンアクセス論文出版のために APC（論文掲載料）の支援を拡大するとともに、電子ブックの増加を図り、電子リソースの整備が進んでいる。

◇改善・充実を求める点

- ・被引用率トップ 10%論文割合は、挑戦的な評価指標ではあるが、実績として、前年度比で減少している。要因の分析・把握に努め、研究時間確保に資する業務負担軽減等、更なる改善に向けた取組が求められる。
- ・研究成果の発信については、SNS 発信へのアクセス数が減少しており、原因分析と具体的な対応策整備により効果的な情報発信が望まれる。

Ⅱ 東京都立産業技術大学院大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するため とるべき措置

1 社会との価値共創に関する目標を達成するための措置

大項目番号 8 都連携及び産学公連携、学び直し支援、修了生との関係強化

◎優れた点・特色ある点

- ・自治体や企業等と連携し新規の連携事業を毎年創出するという挑戦的な評価指標において、前年度よりも2件多く6件実施するなど、積極的に展開するとともに、DXやデータ分析など社会的ニーズに対応した取組が進められている。
- ・AIIT フォーラムでは、受講者ニーズを踏まえた講座テーマの設置等により高い満足度を維持しながら、教育研究成果の社会還元が図られている。今後は、社会貢献や大学認知度の向上の観点からも、視聴回数拡大に向けて、周知方法やテーマ設定の工夫が期待される。
- ・修了生コミュニティやAIIT 研究所を活用し、修了後の継続的な学修機会や在学生とのネットワークの強化に取り組んでいる。

2 教育に関する目標を達成するための措置

大項目番号 9 教育内容等、教育の質向上、多様な人材への学修機会提供

◎優れた点・特色ある点

- ・PBL 教育をはじめとする特色ある教育システムの改善に継続的に取り組むとともに、全常勤教員参加のセミナー等、教育の質向上に向けた全学的な取組が進められている。
- ・運営諮問会議の答申等を踏まえ、授業改善やディプロマサプリメントの改善など、教育の質向上に向けた取組が進められている。東京都が日本経済を牽引しつつ、東京と地方の共存共栄や地方創生を目指すプロフェッショナル人材の育成に期待したい。
- ・IR システムの充実などを通じ、内部質保証の充実を図った。さらに機関別認証評価の受審準備で明らかになった課題を踏まえて、更なる改善が期待される。
- ・起業コミュニティ制度の新設や、DX 講座シリーズなど多様なプログラムの実施により、リカレント教育の充実が図られている。

◇改善・充実を求める点

- ・履修証明プログラムについて修了率 100%を維持しているものの、受講者が少数にとどまっているため、効果検証を行い、受講者数の増加に向けた広報や選考方法の改善が望まれる。

大項目番号 10 グローバル教育

◎優れた点・特色ある点

- ・新たなグローバル人材の能力指標について、修了時の指標達成割合が評価指標を上回り、前年度から 100%を維持するなど、着実にグローバル人材育成を行っている。

◇改善・充実を求める点

- ・海外大学等との連携・交流が過去 2 年間に比べて実績が乏しいように見受けられるため、更なる充実が望まれる。

大項目番号 11 学生への支援

◎優れた点・特色ある点

- ・学生のニーズを踏まえたキャリア相談体制の見直しを行うなど、丁寧なキャリア開発支援に取り組んでいる。今後、在学中の経験と修了後の成果を結びつける分析を行うなど、教学マネジメントの推進にも期待したい。

大項目番号 12 入学者選抜

◎優れた点・特色ある点

- ・入学定員の増員に対応して、SNS 広告の活用や学長・教員による渉外活動等の戦略的な広報活動を展開し、出願者数及び入学者数の確保につなげるとともに、高い志願倍率を維持するなど、教育の質の確保と安定的な学生確保に取り組んでいる。

3 研究に関する目標を達成するための措置

大項目番号 13 研究推進及び研究成果の発信

◎優れた点・特色ある点

- ・常勤教員全員による外部資金獲得申請及び研究成果発表を継続し、提案公募型研究費や科研費等への申請件数・獲得件数を伸ばすなど、研究推進及び研究成果発信が進められている。引き続き中小企業との産学連携方法の検討を行い、中小企業の活性化に寄与することが期待される。
- ・AIIT 高度専門職人材教育研究・IR センターを中心に、IR や FD の充実につながる様々なシンポジウムを実施し、高度専門職業人材育成に関する研究成果の普及が進められている。一方、シンポジウムへの学内教職員の参加が少ないため、今後は、学内教職員の参加を促進することが期待される。

Ⅲ 東京都立産業技術高等専門学校の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するため にとるべき措置

1 社会との価値共創に関する目標を達成するための措置

大項目番号 1 4 都連携、産学公連携、地域貢献、卒業生・修了生との関係強化

◎優れた点・特色ある点

- ・ ICT・IoT 関連講座や品川区と連携した「ものづくりテクノスタジオ 2025」など、産技高専の特色を活かした小中学生向けものづくりや情報技術を体験する機会を提供し、6 年間で参加者 600 名以上という挑戦的な評価指標を上回る参加者数を獲得している。これにより、科学技術への興味・関心の醸成を図るとともに、産技高専の認知度向上や地域との交流促進につながる取組を進めている。今後は、継続的に実施することで、産技高専の価値向上につなげていくことを期待したい。
- ・ スタートアップ教育支援プログラム「地動計画」や地域との連携により、強みを活かし、学生の主体的な学びや挑戦を促進している。
- ・ 再生可能エネルギーについて学ぶ電気電子エネルギー工学コースへの改編を着実に実施し、定員を上回る希望者を集めた。
- ・ 卒業生がキャリア相談などの講師として参加するなど卒業生との交流機会や OBOG 企業説明会の評価指標を上回る開催等を通じて、学生のキャリア形成支援の充実が図られている。

2 教育に関する目標を達成するための措置

大項目番号 1 5 教育内容等、教育の質向上、社会人のスキルアップ支援

◎優れた点・特色ある点

- ・ コース再編により新設したコースの希望者が丁寧な説明会の実施等により評価指標を上回って推移するとともに、副業先生による講義やキャリア開発講座の実施など、学生や産業界のニーズを踏まえた特色ある教育内容の充実が図られている。今後の成果や取組内容の積極的なアピールによる発信効果が期待される。
- ・ 未来工学教育プログラムは、受講者の高い満足度を得ている。一方、参加に伴う負荷の大きさや適性の個人差があることなどを考慮してか、後輩に勧めたいという回答が 56%にとどまっており、更なる工夫が期待される。
- ・ 教育点検改善室を中心とした教育の質保証及び自己点検の環境整備に加え、運営協力者会議における活発な議論や第三者評価の活用により、教育の質改善が図られている。
- ・ ONE DAY RECURRENT 講座等を通じて、社会人のスキルアップや学び直し支援に取り組んでいる。今後は、技術者同士の新たな交流のイベントについて、より参加しやすい環境整備も含めた検討が期待される。

大項目番号 16 グローバル教育

◎優れた点・特色ある点

- ・海外体験プログラムについて、新たな派遣先の開拓を進めるとともに、認知度向上を図り、挑戦的な評価指標を満たす参加者数の確保に向けた取組が進められている。

大項目番号 17 学生への支援

◎優れた点・特色ある点

- ・継続的な学生アンケート調査の実施や、スクールソーシャルワーカーの活用、関係部署間の連携により、学生支援体制の充実が図られている。今後、専門的サポートも含め更なる充実を図るとともに、相談の利用状況等を確認しながら支援を必要とする学生への働きかけを進めることが期待される。
- ・様々なコンテストに参加し、国際的な競技会で日本勢として初めての賞を受賞するなど、課外活動を通じて、学生生活の活性化が進められている。

大項目番号 18 入学者選抜

◎優れた点・特色ある点

- ・SNS や学生広報チームを活用した情報発信、広報対象者の拡大や、広報コンテンツの充実等による学校の認知度向上に取り組み、挑戦的な評価指標であるホームページのアクセス数等が増加している。
- ・特別推薦入試の拡充に向けた取組が進められている。

3 研究に関する目標を達成するための措置

大項目番号 19 研究支援の充実及び研究推進

◎優れた点・特色ある点

- ・特別研究期間制度の利用による学外共同研究の実施が進められている。

◇改善・充実を求める点

- ・特別研究期間制度について、利用実績が評価指標の半分に留まっており、更なる活用促進が望まれる。

IV 法人運営に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

大項目番号 20 組織運営の改善、組織連携の推進

◎優れた点・特色ある点

- ・法人の特性に応じた独自の東京都公立大学法人ガバナンス・コードを策定・公表し、透明性を高め、都民からの信頼を得るべく努めている。これを踏まえ、部長連絡会等を通じた情報共有や意見交換を通じた重点課題に迅速に対応する戦略的な法人運営の継続・発展に期待する。
- ・経営審議会学外委員に有識者を選任し、多様な知見を取り入れて議論を活性化させ、国際化等実際の施策に反映した。
- ・経営審議会の議事要録の具体化により透明性を高めた。今後も、経営上の重要事項に関する議論の内容を分かりやすく示すことなどにより、法人のガバナンスの実効性が一層向上することを期待したい。
- ・都連携案件について評価指標を上回る実績を上げており、外部資金収入の増加にもつながっている。
- ・実験機器利用料金を支援する制度を創設し、機器共用利用を周知するとともに、2大学1高専の共同研究を継続的に実施し、法人内連携を推進している。
- ・グローバル・コミュニケーション・プログラムは、2大学1高専の特徴を活かした独自性が高い実践的国際教育プログラムとして、世界共通の社会課題の調査研究を通じたアイデア創出を行っている。今後は、成果の可視化も含め、更なる発展と充実が期待される。

大項目番号 21 組織強化及び業務改善、施設設備の整備

◎優れた点・特色ある点

- ・定例業務の集約化に向けた試験的な集約（庶務・会計業務）と運用フローの検証を進めるなど、機動的で柔軟な組織体制の構築に取り組んでいる。
- ・職員の主体性に配慮した人材育成プログラムの見直しや障害の特性に応じた業務を割り振った障害者雇用の推進など、人材の確保・育成が進められている。発達障害の方の活躍についての検討も期待される。
- ・教員の人事施策について、人事制度、諸手当、採用施策などの見直しを積極的に行い、赴任旅費の対象拡大や各種加算の見直しなど、優秀な人材の確保・活躍に向けた制度改善を着実に進めている。今後も、それらの効果の確認状況やニーズの変化なども踏まえてタイムリーな見直しが期待される。
- ・DEI 推進の一環として、女性教員比率・外国人教員比率とも向上に向けた取組を着実に推進している。
- ・障害のある教職員の相談について、相談窓口側の対応研修実施や学外の専門的な知

識を有する者への相談体制等の整備を行った。

- ・働き方改革推進計画に基づき、文書管理システムの運用や生成 AI の活用による業務効率化、部分休業制度や介護休業制度の拡充など休暇制度の見直しを進めるとともに、職員の声を踏まえたワークスペースの整備や「夏のノー通勤チャレンジデー」の実施など、働きやすい環境づくりに取り組んでいる。生成 AI の活用については、AI 利活用ポリシーに基づき情報セキュリティにも十分配慮しながら取組を進めることが期待される。
- ・空調や照明等施設設備の改修による確実な安全確保といった「守りの整備」と、都立大南大沢キャンパスにおける施設再配置計画に伴う内装改修等の「攻めの整備」を両立しながら計画的に進め、教育研究環境の整備が図られている。

◇改善・充実を求める点

- ・女性教員比率について、女性限定公募の実施等に取り組んでいるが、2 年連続比率が低下している。目標の達成に向けて、要因の分析と対策の強化が望まれる。

大項目番号 2 2 ガバナンスの強化

◎優れた点・特色ある点

- ・危機管理体制の整備やコンプライアンス行動指針の策定に向けた検討が進められた。
- ・内部統制の基本方針や体制を明確化した上で個別領域ごとの対応をはかっている。
- ・情報化推進ビジョン 2035 や AI 利活用ポリシーの策定など、情報戦略及び IT ガバナンスの強化が図られている。

◇改善・充実を求める点

- ・今後は、他大学法人事例も参考に、統合的なリスクマネジメントの充実に取り組むことで、法人全体の社会的信頼性を更に高めていくことが望まれる。

2 財務運営の改善に関する目標を達成するための措置

大項目番号 2 3 財務内容の改善

◎優れた点・特色ある点

- ・遺贈寄附などの寄附方法の多様化や広報活動の充実など、寄附獲得に向けた取組が進められ、寄附件数が対前年比 47% 増という成果をあげている。今後は、卒業生や修了生とのきめ細かい関係構築等を通じて、寄附文化の醸成や寄附金額の増加につなげることが期待される。
- ・予算執行管理の工夫や目的積立金の活用により、教育研究活動を支える戦略的な財務運営に取り組んでいる。今後も社会の変化に柔軟に対応し、必要な事業へ適切に予算を振り分ける配分計画の作成等を通じて、実効性のある計画的な財務運営が期待される。

3 評価及び情報提供に関する目標を達成するための措置

大項目番号 2 4 評価の充実、情報公開や情報発信等の推進

◎優れた点・特色ある点

- ・評価委員会の所見等を踏まえ、進捗状況報告書の記載内容の改善に取り組むなど、具体的な「行動（実績）」に反映している。今後は、法人自らの自律的な PDCA サイクルの確立に寄与することが期待される。
- ・事業報告書や財務レポートの充実を図るとともに、財務諸表等と同時期に公表することにより、法人の状況について分かりやすい情報発信に努めている。今後は、多様な媒体を通じた効果的な情報発信を継続するとともに、非財務情報の発信についてもリスク情報を含めた更なる内容の充実を図ることによりガバナンスの強化につなげていくことが期待される。
- ・記者懇談会の開催やメディア訪問、SEO 対策など「待ち受け」広報から「仕掛け」広報へと方向転換した戦略的な活動に取り組み、2 大学 1 高専の魅力発信の強化が図られている。

4 その他重要事項に関する目標を達成するための措置

大項目番号 2 5 その他重要事項

◎優れた点・特色ある点

- ・TMU サステナブル研究推進機構を中心に、持続可能な社会の実現に向けた研究が着実に進められており、挑戦的な評価指標を上回る実績を上げている。
- ・設備改修や電力調達の見直し等により、CO₂排出量削減について強化された削減義務率（50.00%）を大幅に上回り、91.00%という成果を上げている。
- ・1,000 名以上が来場した「エコプロ 2025」での環境報告書の公表や報告書の概要版も活用した情報発信などを通じて、環境や SDGs に関する積極的な取組の発信に努めている。今後は、緩和策の取組にとどまらず、事業活動に与える気候変動の悪影響を最小限に抑える適応策に関する取組についても発信していくことが期待される。